

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 3 月 3 日

事業名称		融資事業費 [融資事業]									
予算科目	款 7	商工費	項 1	商工費	目 2	商工振興費	事業番号	3			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	産業振興 課 商工 係					課長名	小川 泉				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	3 - 4、5			
【施策名】 工業の振興、商業の振興							総合計画書(ページ)	75、77			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	市内の中小事業者			市内商工事業所数+α							
	→										
この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
	市内中小事業者の経営の安定。			①融資斡旋実績件数 ②融資斡旋実績金額							
	→										
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	運転資金及び設備資金の不足により経営の安定に支障をきたしている市内中小事業者に対して事業資金融資の斡旋を行った。			①融資を必要としている事業者数(申請件数) ②融資必要金額(申込金額)							
	→										
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	件	2,437+α	2,437+α	2,473+α					
	成果指標	②の数値	①件 ②円	113,100,000	203060000	206,820,000					
	目標	②の目標値	①件 ②千	-	-	-	65②207000	65②207000			
目標値設定の考え方 継続した資金需要が発生すると考え、現状維持と想定。											
3 経費	事業費(実績)		円	28,169,082	27,640,653	26,696,665	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は 8,310,000 円 時間単価は、 4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	28,169,082	27,640,653	26,696,665					
		特定財源	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	0.4					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	3,324,000	3,324,000	3,324,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	31,493,082	30,964,653	30,020,665						
4 環境変化等	(1) 開始年度	51 年度									
	(2) 環境の変化	市内に限らず中小零細企業の業況は厳しく、事業開始当初に比べても景気回復とは言えない。その中で金融機関独自の融資金利が低下傾向にある為、市制度融資のあっせんによる利子補給の有益性はあるものの、相対的にみると市制度融資の活用効果は小さくなってきている。									

事業名称	融資事業費 [融資事業]			
担当部署・課長名	産業振興	課	商工	係 課長名 小川 泉

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	新規創業者を対象とした融資制度はないのか、という問合せが市民からあった。(現在類似の融資メニューは、独立開業資金のみ)			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3))を転記)			
	条例及び要綱等の見直しと再検討。合わせて創業支援事業に関連して、創業希望者に対する創業者用融資あっせん制度の新設なども検討したい。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	創業融資の制度の新設に向けて、条例改正の準備を進めている。また、来年度については東大和市商工会が実施しているマル経融資の事業に対して、補助を行うことで市内事業者の融資の幅を広くし、市内事業者の経営の安定化を図るために支援する。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)			
創業融資に新設に伴う条例改正及び、マル経融資を含む制度の事業者への周知方法を検討し、事業者が制度の選択をしやすいように支援していく。				
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
施策名： 工業の振興、商業の振興				
<input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 市制度及び様々な融資制度の活用を市内事業者が選択できるように東大和市商工会と協力して事業の周知を図っていく。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
今後、東大和市商工会と調整し、周知方法等検討していく。				